

2020年度 第2四半期(上期)決算

株式会社フジクラ

2020年11月2日

目次

1. 2020年度上期決算概要及び年度予想
2. セグメント情報
3. 株主還元

1. 2020年度上期決算概要及び年度予想

2020年度上期決算概要及び年度予想

(単位:億円)

	2019年度			2020年度			2020年度 (公表値8.3)	
	上期	下期	年度	上期	下期 予想	年度 予想	上期	年度
売上高	3,435	3,288	6,723	3,005	2,995	6,000	2,900	—
営業利益	58	▲24	33	89	21	110	10	—
営業利益率(%)	1.7	▲0.7	0.5	3.0	0.7	1.8	0.3	—
持分法投資損益	8	3	11	0	▲6	▲6	▲0	—
経常利益	50	▲37	13	74	▲29	45	▲20	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	8	▲393	▲385	7	▲107	▲100	▲65	—
1株当たり当期純利益(円)	2.85	▲139.44	▲136.58	2.71	▲39.02	▲36.31	▲23.61	—
1株当たり配当(円)	5.00	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	—	—
自己資本利益率(ROE)(%)	0.8	—	▲20.9	1.0	—	▲6.5	—	—
為替換算レート(USD/JPY)	108.61	108.83	108.72	106.93	105.00	105.97	—	—
銅ベース(千円/トン)	692	671	682	675	—	—	—	—

【前年同期比】

- **新型コロナウイルス感染症の影響で自動車メーカーの生産が停止したことによる大幅な減益要因があったが、事業構造改革効果、費用削減の諸施策、銅価上昇による評価差益に加え、エレクトロニクス事業部門において、デジタル機器向けの巣ごもり需要等を取り込み、全社では営業利益、経常利益ともに増益となった。**
- **親会社株主に帰属する当期純損益は、コロナの影響や事業構造改善費用の計上等もあり前年度並みとなった。**

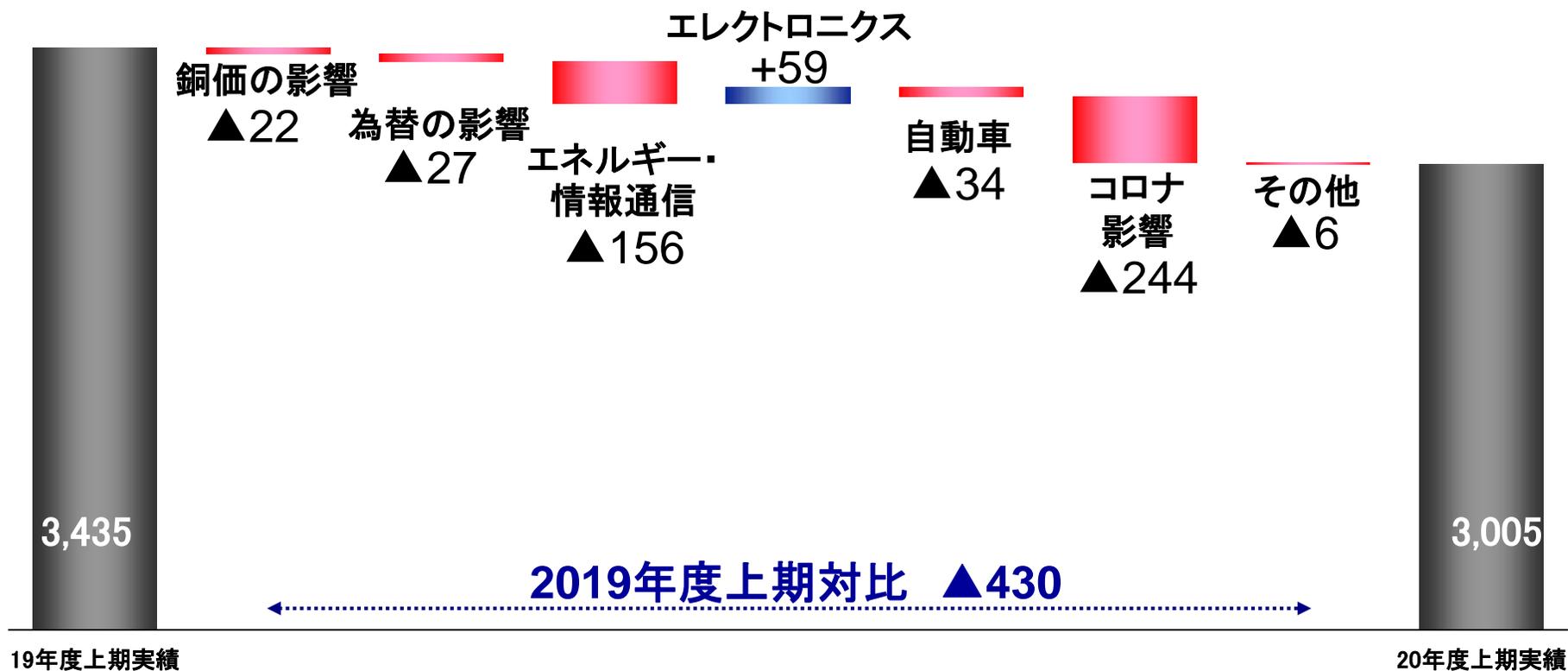
【年度予想】

- エネルギー事業部門の国内電線市場の需要減少や自動車事業部門の新型コロナウイルス感染症の影響で減収となる見込みであるが、事業構造改革による固定費削減、及び費用削減の諸施策の効果が通期におよび、更には戦略商品である超細径高密度光ケーブル（SWR/WTC）の増加などにより、営業利益、経常利益は増益となる見込み。
- 親会社株主に帰属する当期純損益は前年度において減損損失、繰延税金資産取崩による税金費用負担があったため、前年度対比損失が減少する見込み。当期においても引き続き事業構造改革を進め、収益性の改善に取り組む。

2020年度上期 売上高の増減内訳(前年同期比)

売上高

(単位:億円)

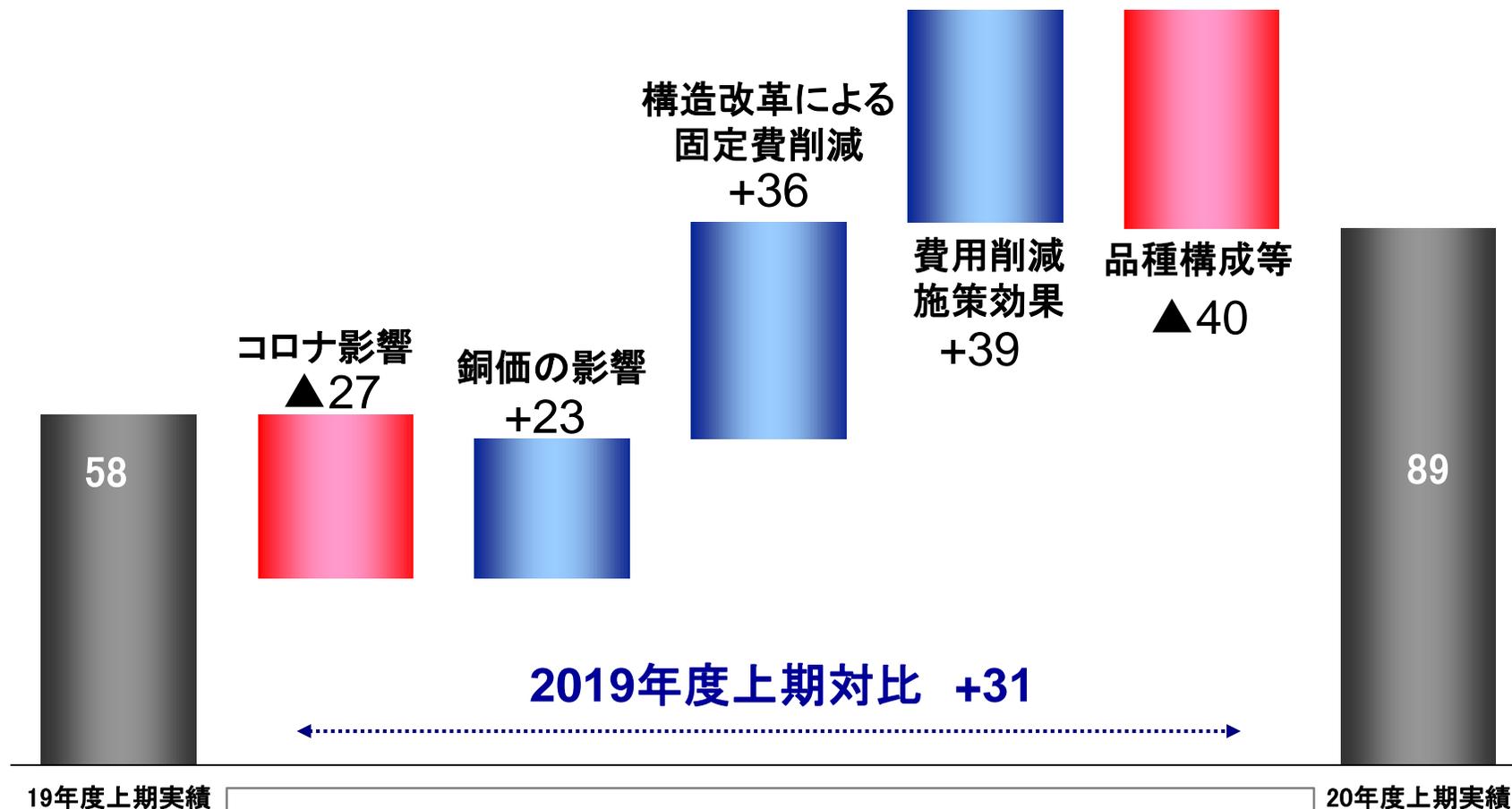


国内電線市場の落込みやコロナの影響を自動車事業部門を中心に受けて、前年同期対比減収。

2020年度上期 営業利益の増減要因(前年同期比)

営業利益

(単位:億円)



コロナの影響に加え、光ファイバ、FPCの競争激化の影響を受けたが、構造改革及び費用削減の諸施策により増益を確保。

2020年度上期 特別損益及び税金項目

特別損益

(単位: 億円)

	2019年度			2020年度 上期
	上期	下期	年度	
営業利益	58	▲24	33	89
持分法投資損益	8	3	11	0
経常利益	50	▲37	13	74
特別利益	68	29	97	16
特別損失	71	236	307	50
税引前当期純利益	46	▲244	▲198	40
税金費用	30	143	173	25
非支配株主に帰属する 当期純利益	8	6	14	8
親会社株主に帰属する 当期純利益	8	▲393	▲385	7

特別損益計 △34億円

・投資有価証券売却益 +7億円

・新型コロナウイルスによる
休転期間中の工場固定費 △20億円

・事業構造改善費用 △17億円

2020年度予想

減損による償却費の減少と事業構造改善効果

(単位:億円)

セグメント	2020年度			
	上期	下期	年度	コメント
エネルギー・ 情報通信カンパニー	15	15	30	【減損】 ・光ファイバ製造設備 (22億円) ・ファイバレーザ製造設備 (6億円)
エレクトロニクス事業部門	2	2	4	
自動車事業部門	18	18	36	【減損】 欧州ワイヤハーネス製造設備他 (15億円) 【事業構造改善費用】 欧州、アジア、北南米の人件費削減 (19億円)
電子電装・コネクタ カンパニー	20	20	40	
その他	1	6	7	【事業構造改善費用】 本社他人件費削減 (7億円)
合計	36	41	77	

B/S 主要項目(1)

(単位:億円)

	20年3月末	20年9月末	増減
〈資産〉	5,761	5,891	+130
流動資産	2,998	3,227	+229
現金及び預金	447	669	+223
受取手形及び売掛金	1,289	1,371	+82
たな卸資産	1,037	1,015	▲21
固定資産	2,763	2,664	▲99
有形固定資産	2,106	2,040	▲65
無形固定資産	157	137	▲21
小計	2,263	2,177	▲86
投資その他の資産	500	487	▲12

新型コロナウイルス感染症対応による手元流動性の確保

エレクトロニクスカンパニーにおいて季節的要因により増加

設備投資 +102億円
減価償却費 ▲163億円
除売却等 ▲25億円

B/S 主要項目(2)

(単位:億円)

	20年3月末	20年9月末	増減
負債純資産合計	5,761	5,891	+130
(内数 自己株式)	(▲109)	(▲109)	(+0)
〈負債〉	4,040	4,126	+86
支払手形及び買掛金	658	696	+39
有利子負債(借入金・社債)	2,607	2,700	+94
その他負債	775	729	▲46
〈純資産〉	1,721	1,765	+44
株主資本	1,599	1,637	+38
(内数 自己株式)	(▲109)	(▲109)	(+0)
その他の包括利益累計額	▲79	▲76	+3
非支配株主持分	200	203	+3
自己資本比率	26.4%	26.5%	+0.1%

有利子負債は新型コロナウイルス感染症対応による手元流動性の確保のため増加しているが、NET D/E Ratioは改善されている。(59:41→57:43)
Net Debt 2,160⇒2,031 ▲129

2. セグメント情報

セグメント別業績推移及び予想

(単位:億円)

売上高

セグメント	19年度 上期実績	20年度 上期実績	増減	20年度 下期予想
エネルギー・ 情報通信カンパニー	1,674	1,472	▲203	1,487
エレクトロニクス 事業部門	902	955	+53	746
自動車 事業部門	773	500	▲273	678
電子電装・コネクタ カンパニー	1,675	1,454	▲221	1,424
不動産 カンパニー	57	54	▲3	55
その他	29	25	▲4	29
合計	3,435	3,005	▲430	2,995

営業利益及び営業利益率

19年度 上期実績	20年度 上期実績	増減	20年度 下期予想
44	83	+38	40
2.7%	5.6%	+3.0%	2.7%
▲0	18	+18	▲46
▲0.0%	1.9%	+1.9%	▲6.2%
▲12	▲37	▲25	2
▲1.6%	▲7.4%	▲5.8%	0.3%
▲13	▲19	▲6	▲44
▲0.8%	▲1.3%	▲0.5%	▲3.1%
28	26	▲2	24
48.9%	48.2%	▲0.7%	43.1%
▲2	▲1	+1	1
58	89	+31	21
1.7%	3.0%	+1.3%	0.7%

※一部事業の管理体制の見直しに伴い、19年度の数字を組替再表示しております。

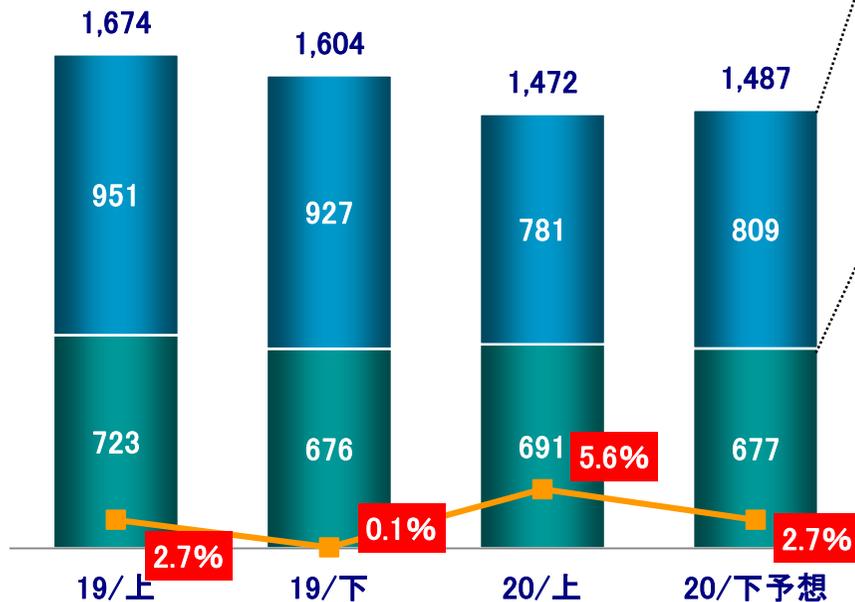
エネルギー・情報通信カンパニー

- 前年同期比で上期実績は国内電線市場の需要減少、光ファイバの競争激化などにより減収となったが、構造改革による固定費削減、銅価上昇による評価差益の計上等により増益。
- 上期実績対比で下期は、品種構成の変化などにより増収減益を見込む。

(単位: 億円)

売上高と営業利益率

- エネルギー
- 情報通信
- 営業利益率



エネルギー

- 上期実績は、国内電線市場の需要減少などにより減収
- 下期は、季節的要因もあり増収を見込む。

情報通信

- 上期実績は、中国での光ファイバの競争激化などにより減収。
- 下期は、季節的要因に加え、競争激化の影響を受けて減収を見込む。

コメント 上段: 上期実績、前年同期比
下段: 下期予想、上期実績対比

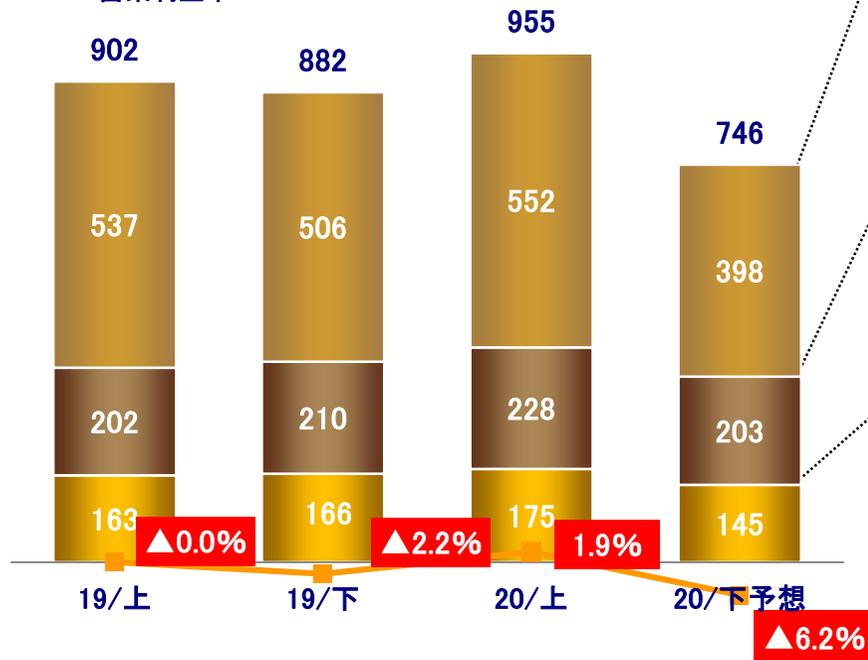
エレクトロニクス事業部門

- 前年同期比でデジタル機器向けの巣ごもり需要等を取り込み、上期は増収増益。
- 上期実績対比で下期はスマートフォン向け製品の季節的要因で減収減益を見込む。4Qの需要が不透明なこともあり保守的に見ている。

(単位: 億円)

売上高と営業利益率

- FPC
- コネクタ
- その他
- 営業利益率



FPC

- 上期実績は、スマートフォン向けを中心に増収。
- 下期は、スマートフォン向けの4Qの需要が不透明なこともあり保守的に見ている。

コネクタ

- 上期実績の売上高は、スマートフォン需要により増収。
- 下期は、スマートフォン向け製品の季節的要因等で減収を見込む。

その他

- 上期実績の売上高は、巣ごもり需要により増収。
- 下期は巣ごもり需要も一服し減収を見込む。

コメント 上段: 上期実績、前年同期比
下段: 下期予想、上期実績対比

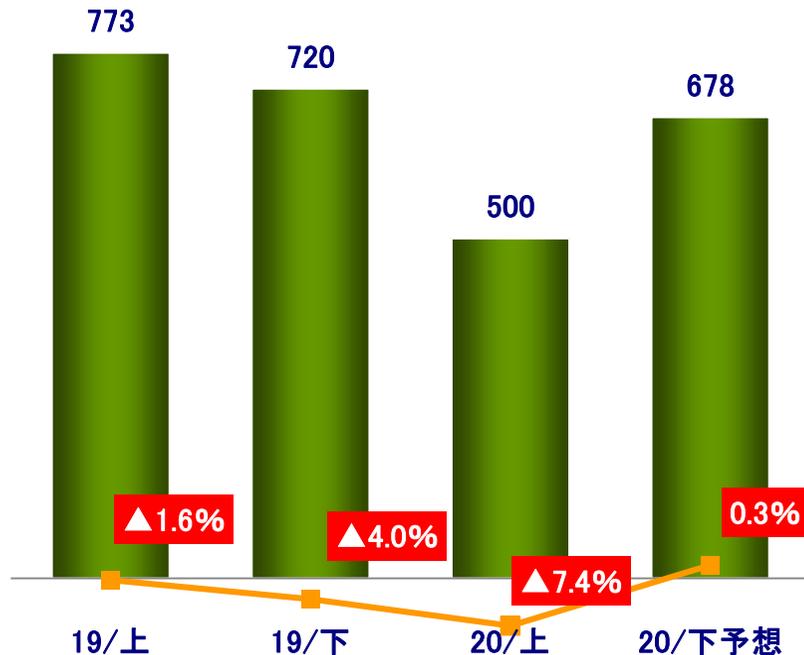
自動車事業部門

- 新型コロナウイルス感染症によるロックダウンが世界各国であり、顧客の生産停止にまでおよんだ結果、前年同期比で上期実績は大幅な減収減益。
- 上期実績対比で下期は、コロナの影響が解消することに加え、生産性の改善もあり黒字化を見込む。

(単位: 億円)

売上高と営業利益率

営業利益率



自動車関連

- 上期実績の売上高は、顧客の生産停止等の影響で減収。
- 下期は、コロナの影響が解消し増収を見込む。

コメント 上段: 上期実績、前年同期比
下段: 下期予想、上期実績対比

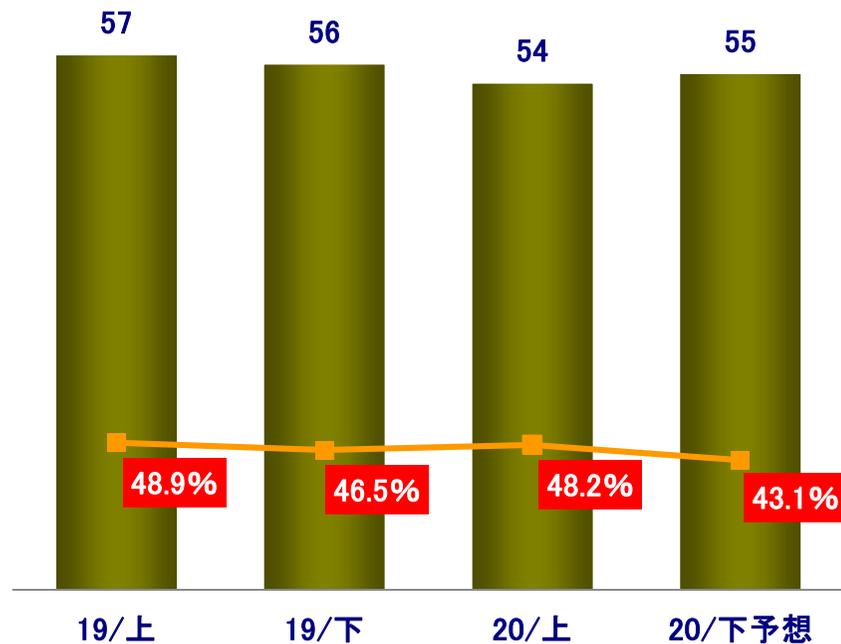
不動産カンパニー

■ 不動産賃貸収入が引き続き収益に貢献。

(単位: 億円)

売上高と営業利益率

— 営業利益率



不動産

■ 引き続き安定的な賃料収入を見込む。

設備投資及び減価償却費

(単位:億円)

	2019年度		2020年度	2020年度 予想 (11.2)
	上期	年度	上期	
設備投資	197	301	102	170
(内製造事業)	188	288	96	160
(内不動産事業)	9	14	6	10
減価償却費	177	357	163	330
(内製造事業)	167	337	153	310
(内不動産事業)	10	20	10	20

有利子負債、金融収支、フリーキャッシュフロー

(単位:億円)

	2019年度			2020年度
	上期	下期	年度	上期
有利子負債①	2,736	2,607	2,607	2,700
現金及び預金②	369	447	447	669
①－②純有利子負債	2,368	2,160	2,160	2,031
金融収支	▲10	▲9	▲19	▲8
フリーキャッシュフロー	▲183	290	107	163

フリーキャッシュフロー＝営業活動によるキャッシュフロー＋支払利息＋投資活動によるキャッシュフロー

3. 株主還元

■ 2020年度中間配当について

中間配当は誠に遺憾ながら見送らせて頂きます。

■ 2020年度期末配当予想について

連結業績予想や経営環境等を踏まえ、総合的に勘案しました結果、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。早期復配を実現すべく引き続き事業構造改善に取り組んで参ります。



注記: 本資料は20年度におけるフジクラの経営方針(意思)をまとめています。20年度の売上・利益等については、直近状況を織り込んだ市場判断、投入に関するフジクラの意思を定量化していますが、将来時点で事業環境の変化等により変わることがあります。

【2020年度 第2四半期 補足資料】

事業セグメント別 売上高・営業利益 推移

事業セグメント別 売上高 推移

単位:億円

	2019年度							2020年度					2020年度 公表値(8.3)
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	年度	1Q実績	2Q実績	上期実績	下期予想	年度予想	
エネルギー事業部門	481	470	482	445	951	927	1,879	387	394	781	809	1,590	795
情報通信事業部門	360	363	337	339	723	676	1,400	318	373	691	677	1,369	683
エネルギー・情報通信カンパニー	841	834	819	784	1,674	1,604	3,278	705	767	1,472	1,487	2,958	1,479
FPC	190	347	301	205	537	506	1,043	222	330	552	398	950	501
コネクタ	75	128	118	92	202	210	412	90	139	228	203	431	196
その他	70	93	91	75	163	166	329	81	94	175	145	319	169
エレクトロニクス事業部門	335	567	509	373	902	882	1,783	393	562	955	746	1,700	865
自動車事業部門	406	367	375	345	773	720	1,493	163	337	500	678	1,178	477
電子電装・コネクタカンパニー	740	935	884	717	1,675	1,601	3,276	556	899	1,454	1,424	2,878	1,343
不動産カンパニー	28	28	28	28	57	56	113	27	27	54	55	109	54
その他	14	15	15	12	29	27	56	12	14	25	29	54	25
合計	1,624	1,811	1,746	1,542	3,435	3,288	6,723	1,299	1,706	3,005	2,995	6,000	2,900

事業セグメント別 営業利益 推移

エネルギー・情報通信カンパニー	19	25	22	△ 21	44	1	46	35	47	83	40	123	46
エレクトロニクス事業部門	△ 28	28	9	△ 28	△ 0	△ 19	△ 20	△ 13	31	18	△ 46	△ 28	△ 20
自動車事業部門	△ 3	△ 10	△ 15	△ 14	△ 12	△ 29	△ 41	△ 28	△ 9	△ 37	2	△ 35	△ 39
電子電装・コネクタカンパニー	△ 31	18	△ 7	△ 42	△ 13	△ 48	△ 61	△ 41	22	△ 19	△ 44	△ 63	△ 59
不動産カンパニー	15	13	13	13	28	26	54	13	13	26	24	50	25
その他	△ 0	△ 1	△ 0	△ 3	△ 2	△ 3	△ 5	△ 1	0	△ 1	1	0	△ 3
合計	3	55	29	△ 53	58	△ 24	33	6	83	89	21	110	10

※2020年度より自動車事業部門からエレクトロニクス事業部門へと一部事業の移管を行ったため、2019年度の実績値を組替再表示しております。

株式会社フジクラ